

質疑内容（令和４年度第１回小国町中心市街地活性化協議会）

渡部委員 計画予定のエリアについて広範囲な印象を受けたが、図面の色分けについては、何か意図があるのか。

小林委員 計画予定のエリアについて兵庫館、長崎、腰巻部分をエリアから外した意図を教えていただきたい。

事務局 色分けについては、このエリアは都市計画区域になっており、用途が決まっており、例えば黄色が第一種住居地域で青色が工業占用地になっており中核企業が立地をしており、色分けで区分けがされている。

現時点の計画区域以外の部分については、事業計画の予定がないと想定されるため外しているが、今後の展開で兵庫館、長崎、腰巻部分での事業計画が出てくれば区域変更も必要であると思われる。

渡邊委員 今回の中心市街地活性化基本計画〈原案書〉について、これは町で作成するのか、また委託業務で業者に発注等するのか。

事務局 基本的には、町で作成する。
例えば目標設定に係る町民の意向を目的としたアンケート調査など、素案の作成の部分については、庁内の検討委員会を経て、取りまとめ、中身の調整や整理については、ランドブレイン(株)に委託をしている。

伊藤会長 本日の協議会は、一回目ということもあり、意見や質問が出にくいと思われるが、二回目の協議会でも、意見や質問等させていただく機会は設けるか。

事務局 二回目の協議会では、また新たな議題になるが、委員の方には深く理解をしていただいた上で、進めることが重要であるため、不明な点があれば、協議会の場合だけでなく、いつでも問合せいただきたい。

鈴木委員 アンケートを取ってランドブレイン(株)で基本計画を組んでそれに対して当協議会で検討するという理解でいいか。

事務局 基本的には、ランドブレイン(株)に支援いただいて町で素案を作成し、協議会で意見等頂くのが基本になるが、委員の皆様から事業の計画や提案等いただいて整理し、基本計画に落とし込むことを想定している。

小林委員 先ほど、オブザーバーの中小企業基盤整備機構から事業について最終的に全部埋まるという話を聞き、役場のみならず民間事業者も手を上げて、事業を計画すれば、実現可能であるという理解をした。

事業の追加について民間からの意見も検討するとなった場合、町民アンケートを実施する際に抽出でやるようだが、計画エリア内の町民だけでなく、町内全域を対象にし、事業者についても町内全域や町外の事業者も加えてはいいのではないか。

事務局 アンケートについて、抽出の対象については、人口割合も勘案して無作為で1,500人を抽出する予定である。事業アンケートの計画区域以外の事業者の可能性も想定されるが、まずは計画区域内の事業者向けにアンケートを実施したいと考えている。

小林委員 計画区域を意識しすぎて、考えてしまう可能性があるため、計画区域についてもっと柔軟に考えてもいいのではないか。
今後の進め方を見て区域設定をしていくような進め方を試行してはどうか。

事務局 現段階での計画区域の考え方であるので、今後の議論で計画区域外での事業計画があればその段階で区域を変更する可能性はでてくる。

今後議論する5年間で進める事業になるため、膨大な計画を詰め込むのも困難なため、調整をして協議会で議論を経て計画に落とし込みたいと考えている。

中小機構 民間事業者の事業は思いついたら、すぐ実行される場合があるが、今回の5年間の計画も最初に作成はするが、計画区域内で新しく事業計画が出ればどんどん計画にいられていただいて構わない。

基本計画作成されたので5年間計画を変更できないという認識ではなく、毎年変更する例も多々ある。

例えば新規の事業計画の追加や、実現困難な事業についての調整等であり、内閣府と調整して進めていくような例である。現状、事業計画が無くてもこれから事業を探していく等、検討していただきたい。